



平成 28 年度全国学力・学習状況調査

岩見沢市における調査結果報告書【概要版】

平成 28 年 11 月 岩見沢市教育委員会

学力調査の結果より

1 岩見沢市・北海道・全国の調査結果

(平均正答率：%)

	項目	国語A	国語B	算・数A	算・数B
小学校 6年生	岩見沢市	72.2	55.9	78.4	46.1
	北海道(公立)	71.0	56.0	75.3	44.5
	全国(公立)	72.9	57.8	77.6	47.2
中学校 3年生	岩見沢市	75.6	67.1	65.5	45.7
	北海道(公立)	75.1	65.0	61.8	43.3
	全国(公立)	75.6	66.5	62.2	44.1

全国の平均正答率を 100 とした場合の数値による比較

	項目	国語A	国語B	算・数A	算・数B
小学校 6年生	岩見沢市	99.0	96.7	101.1	97.7
	北海道(公立)	97.4	96.9	97.0	94.3
	全国(公立)	100.0	100.0	100.0	100.0
中学校 3年生	岩見沢市	100.0	100.9	105.3	103.6
	北海道(公立)	99.3	97.7	99.4	98.2
	全国(公立)	100.0	100.0	100.0	100.0

国語A、算・数Aは、主として「知識」に関する問題です。国語B、算・数Bは、主として「活用」に関する問題です。

2 岩見沢市における児童・生徒の調査結果

小学校 6年生	国語Bを除く全ての科目で全道平均を上回り、全国平均にあと一歩と迫っています。	中学校 3年生	国語Aは全国平均と同じ。その他の科目は全国・全道平均を上回っています。
------------	--	------------	-------------------------------------

3 解説 岩見沢市の児童・生徒の状況

小学校国語A	小学校国語B
<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩見沢市の平均正答率 72.2 は、全国平均を 0.7 ポイント下回り、全道平均を 1.2 ポイント上回っています。 ○ 領域「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、評価の観点「言語についての知識・理解・技能」については、全国・全道平均を上回っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩見沢市の平均正答率 55.9 は、全国平均を 1.9 ポイント、全道平均を 0.1 ポイント下回っています。 ○ 領域「読むこと」、評価の観点「読む能力」については、全国平均と同等で、その他の領域、評価の観点、問題形式全てで全国平均を下回っています。
小学校算数A	小学校算数B
<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩見沢市の平均正答率 78.4 は、全国平均を 0.8 ポイント、全道平均を 3.1 ポイント上回っています。 ○ 領域、評価の観点、問題形式の全項目で全国・全道の平均正答率を上回っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩見沢市の平均正答率 46.1 は、全国平均を 1.1 ポイント下回り、全道平均を 1.6 ポイント上回っています。 ○ 領域、評価の観点、問題形式の全項目で全道平均を上回り、全国平均を下回っています。
中学校国語A	中学校国語B
<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩見沢市の平均正答率 75.6 は、全国平均と同等で、全道平均を 0.5 ポイント上回っています。 ○ 領域「書くこと」「読むこと」、評価の観点「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」において全道平均を上回り、問題形式「短答式」は全道平均と同等です。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩見沢市の平均正答率 67.1 は、全国平均を 0.6 ポイント、全道平均を 2.1 ポイント上回っています。 ○ 領域「書くこと」「読むこと」、評価の観点「書く能力」「読む能力」、問題形式「記述式」で全国・全道平均を上回っています。
中学校数学A	中学校数学B
<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩見沢市の平均正答率 65.5 は、全国平均を 3.3 ポイント、全道平均を 3.7 ポイント上回っています。 ○ 領域、評価の観点、問題形式の全てで、全国・全道平均を上回っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩見沢市の平均正答率 45.7 は、全国平均を 1.6 ポイント、全道平均を 2.4 ポイント上回っています。 ○ 領域「図形」、問題形式「記述式」を除いて全国平均を上回り、全ての領域、評価の観点、問題形式で全道平均を上回っています。

生活習慣の様子から

1 毎日朝ごはんを食べていますか

(単位%)

岩見沢市小学6年生	85.5	8.2	4.8	1.3
岩見沢市中学3年生	82.1	11.1	5.2	1.5
回答項目	①	②	③	④
全国 小学6年生	87.3	8.2	3.5	0.9
平均 中学3年生	83.3	10.0	4.8	1.8

回答項目

- ①している
- ②どちらかといえば、している
- ③あまりしていない
- ④していない

「食べている割合」は、小学生は1.8ポイント、中学生は0.1ポイント全国平均を下回っています。「食べていない」割合は、小学生では1.7ポイント、中学生では0.1ポイント全国平均を上回っています。

2 学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか(学習塾、家庭教師を含む)

(単位%) 回答項目

岩見沢市小学6年生	5.8	10.3	19.3	23.2	14.8	26.3
岩見沢市中学3年生	6.3	12.2	17.3	21.2	13.0	30.1
回答項目	①	②	③	④	⑤	⑥
全国 小学6年生	6.8	9.9	19.8	27.0	15.9	20.6
平均 中学3年生	5.5	8.1	14.6	21.5	13.1	37.2

- ①3時間以上
- ②2時間以上、3時間より少ない
- ③1時間以上、2時間より少ない
- ④30分以上、1時間より少ない
- ⑤30分より少ない
- ⑥全くしない

小学生、中学生共に全国と比べ、「家庭学習」に取り組む時間は少ないです。特に小学生は不足しています。

3 家や図書館で、普段(月～金)1日あたりどれくらいの時間、読書しますか

(単位%) 回答項目

岩見沢市小学6年生	5.8	10.3	19.3	23.2	14.8	26.3
岩見沢市中学3年生	6.3	12.2	17.3	21.2	13.0	30.1
回答項目	①	②	③	④	⑤	⑥
全国 小学6年生	6.8	9.9	19.8	27.0	15.9	20.6
平均 中学3年生	5.5	8.1	14.6	21.5	13.1	37.2

- ①2時間以上
- ②1時間以上、2時間より少ない
- ③30分以上、1時間より少ない
- ④10分以上、30分より少ない
- ⑤10分より少ない
- ⑥全くしない

小学生は全国平均をやや下回りますが、中学生は全国平均を上回る読書時間で、「全くしない」割合もここ3年間減少し続けています。

4 普段(月～金)、1日あたりどれくらいの時間、TVやVTR、DVDを見たり聞いたりしていますか

(単位%) 回答項目

岩見沢市小学6年生	19.0	20.7	24.0	22.3	12.0	1.8
岩見沢市中学3年生	11.5	16.5	23.8	30.1	15.4	2.6
回答項目	①	②	③	④	⑤	⑥
全国 小学6年生	16.0	16.8	24.3	26.9	13.9	2.0
平均 中学3年生	10.7	13.4	24.6	30.6	18.2	2.3

- ①4時間以上
- ②3時間以上、4時間より少ない
- ③2時間以上、3時間より少ない
- ④1時間以上、2時間より少ない
- ⑤1時間より少ない
- ⑥全くしていない

小学生、中学生共に、全国と比べ、TVやVTR、DVDの視聴時間が長いです。

5 普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式ゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか

（単位％） 回答項目

岩見沢市小学6年生	11.5	8.7	16.2	23.3	30.2	10.0	①4時間以上
岩見沢市中学3年生	10.8	10.5	19.7	24.3	20.5	14.0	②3時間以上、4時間より少ない
回答項目	①	②	③	④	⑤	⑥	③2時間以上、3時間より少ない
全国 小学6年生	8.2	7.8	13.7	25.3	31.1	14.0	④1時間以上、2時間より少ない
平均 中学3年生	9.7	9.2	16.0	22.2	26.3	16.6	⑤1時間より少ない ⑥全くしていない

項目①「4時間以上」と項目②「3時間以上、4時間より少ない」の割合をみると、小学生、中学生ともに国平均を上回っていますが、昨年より減少しています。

6 普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）

回答項目

（単位％） ①4時間以上

岩見沢市小学6年生	5.2	2.2	4.3	10.2	11.5	23.7	42.8	②3時間以上、4時間より少ない
岩見沢市中学3年生	9.3	10.2	15.1	15.4	11.6	14.2	24.0	③2時間以上、3時間より少ない
回答項目	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	④1時間以上、2時間より少ない
全国 小学6年生	3.0	2.8	4.6	8.1	11.9	30.7	38.9	⑤30分以上1時間より少ない
平均 中学3年生	8.6	8.0	13.5	17.7	15.6	17.5	18.8	⑥30分より少ない
								⑦持っていない

項目①「4時間以上」と項目②「3時間以上、4時間より少ない」の割合をみると、小学生、中学生共に全国平均を上回っています。一方、項目⑦「持っていない」の割合は小学生、中学生共に全国平均を上回っています。

改善に向けて — 学力向上に向けた提言 —

1 「学校力」向上の取組の一層の推進を

各学校において、「学校力」向上に向けた組織的な取組が浸透しつつあり、その徹底の度合いが結果にも現れつつあります。今後も、以下の点について、継続的に取り組んでいくことが必要です。

- (1) 授業スタイル、学習規律、教室環境などの統一
- (2) 学力の数値目標の設定と評価
- (3) 教育課程の改善

2 「定着」「習熟」を重視した授業改善、教育課程改善を

学校で統一した授業スタイルの構築が進み、児童・生徒質問紙の「授業の始めに、目標が示されていたか」という設問では、肯定的な回答が、小中学校ともに全国平均を上回り、「授業の最後に学習を振り返る活動を行っていたか」の設問でも、小学生は全国平均を上回りました。

ここ数年の課題だった、1時間の授業や単元の「定着」と「習熟」に力点を置いた指導が浸透しつつあります。

今後も、以下の点について、継続的に取り組んでいくことが必要です。

- (1) 授業の終末段階や次時のはじめの「前時の想起」において、習熟・定着の場の設定を重視する。
- (2) 練習問題（ドリル）の徹底による習熟の深化
- (3) (2)にかかわって、そのための教育課程の工夫・改善、宿題・家庭学習の充実

3 「教えて考えさせる」指導の導入を

「教えて考えさせる」指導は、教師のていねいな説明と理解確認によって基礎知識の共有を図り、その先に、やりがいのある理解深化課題を用意して、問題解決や討論を促します。

理解に時間を要する子どもでも、基礎的な知識・技能を身につけて高度な課題解決に参加することや、学力が高い子や先取り学習している子どもでも達成感・充実感を得ることが可能となります。

次期学習指導要領で一層重視される「活用能力」の育成に有効な手段であり、各学校において「教えて考えさせる」指導を取り入れた授業づくりの取組が望まれます。

4 小中連携による学力向上の取組の確実な実行を

岩見沢市では、5つのブロック毎に、小中連携の取組が進んで来ました。小中の教職員が志を同じくして子どもたちの学力向上に共に汗を流す体制を一層強固に構築する必要があります。

- (1) 標準学力検査、全国学力・学習状況調査の結果の交流
- (2) 小学校卒業時と中学校入学後の成績の比較検討
- (3) 小中で統一した学力向上の取組の実施

5 子どもの自尊感情を育てる取組の推進を

今年度の児童・生徒質問紙の自尊意識をはかる目安となる設問における肯定的な回答は、小学生が全国平均を下回り、中学生は上回りました。そして、平均正答率もその結果を反映したものとなりました。

学校生活の中で、自尊意識、成就感、参加意識を感じられるよう取組の一層の推進が望まれます。

- (1) 規範意識が高い児童生徒ほど、自尊感情が高いという研究結果もあることから、教職員の共通理解のもと、学校のきまりを守ることを継続的に指導する。
- (2) 授業や行事等の教育活動で、児童生徒に自信を持たせたり、成就感を持たせたり、自分の良さに気づかせたりする活動を意図的に計画する。
- (3) 生徒指導の機能を生かした「わかる」授業づくりの継続
- (4) 子どもが自分の良さに気づく「道徳の時間」の授業づくりの継続
- (5) 子どもたちの人間関係づくりのためのピア・サポートや構成的グループ・エンカウンター等の手法の導入、Q-uの活用

6 「家庭力」「地域力」の向上を（保護者、地域の皆様へ）

- (1) 「家庭での5つの約束」で確かな学力を育みましょう。

今年度の児童・生徒質問紙の基本的な生活習慣の定着をはかる目安となる設問における肯定的な回答は、全国平均に比較して、全般的に小学校に比べて中学校が上回り、平均正答率も同様の結果となりました。

基本的な生活習慣の定着の度合いと学力の関係は、岩見沢市においても顕著なものとなりました。

学力向上には家庭での生活習慣、学習習慣の定着が大切です。子どもたちの学力向上のためには、家庭での基本的な生活習慣や学習習慣の定着の度合いが大きく左右します。朝ごはんを毎日食べている子どもは、食べていない子どもより学力が高いといわれています。各ご家庭で、下記の「家庭での5つの約束」を実践し、学校と協力して、子どもたちの生活習慣、学習習慣の改善を図り、確かな学力を育みましょう。

- ① 早寝、早起き、朝ごはんの習慣を身につけよう
- ② 次の日の学習準備をしよう
- ③ 家庭学習を毎日しよう
 - ・帰宅後の学習習慣を身につける
 - ・宿題、予習、復習をする
- ④ 読書に親しもう
- ⑤ 家族との会話を大切にしよう

- (2) テレビ、スマホ・パソコン等の使用についての約束事を決め、長時間にならないようにしましょう。
- (3) 子ども自身のよいところの発見とその発揮を応援しましょう。
- (4) 「地域力」の向上を

地域の大人が子どもに関わり、望ましい価値観を醸成することが求められています。今回調査では、岩見沢市の子どもたちの地域行事への参加意欲が全国平均に比べ、かなり低いことが分かりました。地域子ども会、児童館との連携・協力、地域行事との連携、PTA との連携などを通して、子どもたちの地域や社会への関心を高め、地域ぐるみの子育てを推進する体制を構築していく必要があります。